

## 第32回 C I S研究所パートナー会 議事録

日時 2013年12月23日（月・天皇誕生日） 13時30分～17時30分

場所 C I S会議室

1. サロン 特別ゲスト： 矢野耕三様

テーマ 閑話としての 「近況報告」

「14” 液晶 TV：IEEE のマイルストーン認定の決定」のお話など。



会議風景

## 2. 紹介

矢野 耕三 様の紹介：

元 シャープ亀山 生産本部長

現 フォックスコン日本技研代表

\*フォックスコン日本技研

鴻海グループが2013年7月に日本に初めて作った研究機関

CIS参加者自己紹介：神田 忠起 様、西村 靖紀 様、中尾 元一 様、久米 健次 様、山本

CIS パートナーの紹介（議事録記載省略）

### 3. 近況

矢野様の話は、興味深く対話型の報告で進行した。

#### ・4kTVについて

（矢野）

台湾も中国のTVの現状：

まず、台湾も中国でも一般的な家庭では、ハイビジョンさえも見していない。

ケーブルテレビがメインでメインで、NTSCがCECAM CATV契約 ハイビジョンの契約は800台湾元 x 3.5倍（3000円）

ハイビジョン（HD）のコンテンツも含む契約は非常に高い1500台湾元（5250円）となる。

HDは一般家庭に入っていない；

HDのコンテンツは、スポーツ番組と、ネイチャーの類だけで、台湾でも中国でも一般の番組はハイビジョンで作られていない。即ち、ソースがない状況。

普通は、バラエティー番組を見ているだけ、HDでは作られているが、

北京オリンピックは、衛星放送でHD受信できたが、その後ケーブルテレビのみとなり、HDのソースがなく、NTSCとPALのみの状況で32”以下でないと見られたものでない。

\* 台湾・中国は4Kの道は遠い。

#### 海外諸事情：

・中国では事業スタート時の設備投資は国家支給で初期投資の償却はゼロこれでは日本企業は勝てない。

・国家が投資するに見合った、税がとれないとすると、国家はなぜ破たんしないのか？

→ 国家は土地を革命で召し上げ、使用権を売って原資としている。

→ 今では、価値ある土地は売り尽くし、資金源がなくなってきたとのうわさ有。

＝現状は、ばらまきすぎて、土地が少なくなっており危険状態にあるという。

考えられる中国の対応策は、国家が過大な借金を背負うと、国家破たんで大混乱させ借金をチャラにして土地の権利書などを無効にして、ゼロからスタート。大きな個人資産を持つ者位は、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドなど海外に預金している。

・戸籍は存在しないが、生まれた土地から離れることは許されていない。都市に住む。

・台湾では、株で保持する、働いて得たボーナスは株でもらう。10億程度保持すると、やめてしまう人が多い。右肩上がりの時代では、土地購入が良かったが今は株で蓄財。

相続税のない国多い、日本は相続税が大きい、3代続くと財産はゼロ。

インドネシアでは戸籍ない。住民票は地域の世話役が居住の証明をする。

- ・ **韓国** : 技術が全部抜けてしまう。

- ・ 海外からの留学生、論文を書く指導をするのは教授の仕事、論文が書けないのは教授の怠慢と言う考えが主流と言う・・・驚き。

- ・ **大学の外国人受け入れ**について :

定員割れを防ぐ、文部科学省の方針。 参考文献添付。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/ryugaku/\\_icsFiles/afieldfile/2013/10/10/1339091\\_2\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/_icsFiles/afieldfile/2013/10/10/1339091_2_1.pdf)

14” 液晶 TV : IEEE のマイルストーン認定の決定

参照 :

[http://www.ieeeahn.org/wiki/index.php/Milestone-Proposal:Sharp\\_14-inch\\_thin-film-transistor\\_liquid-crystal\\_display\\_%28TFT-LCD%29\\_for\\_TV%2C\\_which\\_has\\_ushered\\_in\\_TFT\\_LCD\\_industry](http://www.ieeeahn.org/wiki/index.php/Milestone-Proposal:Sharp_14-inch_thin-film-transistor_liquid-crystal_display_%28TFT-LCD%29_for_TV%2C_which_has_ushered_in_TFT_LCD_industry)

(省略)

#### 4) 次回開催日の予定

2014年1月26日(日) 中尾 元一 様

次々回 : 2014年2月度 久米 健次 様  
24日(月)

ホームページ URL

<http://www.cis-laboratories.co.jp/>

以上